

## 庄内中学校 1 年生の地域巡見学習を行いました

庄内中学校 1 年生 (72 名) を対象にした地域巡見学習を 11 月 18 日 (金) 午後開催しました。教育文化活動部会 (花原恵子部会長) が主催し、今年で 12 年目になります。自分たちの住む庄内には、たくさんの歴史と文化があることに気づき、郷土に愛着と誇りを持ってくれることを期待して実施しているものです。

あいにくの空模様でしたが傘は必要なく、バス 4 台に分乗し地区内の史跡を回りました。ガイドは都城島津邸の山下真一館長 (庄内中出身)、「庄内の昔を語る会」(朝倉事務局長) と関之尾むかえびとの会 (花原さん、佐々原さん) にお願しました。

見学先は平田かくれ念仏洞跡、乙房神社 (田のかんさあ)、宮島中央権現、諏訪神社、山久院跡、三島通庸遺徳の碑、安永城跡、願心寺です。駐車場が狭いのでバス 4 台ごとに順路を変え安永城跡で合流しました。乙房神社の「田のかんさあ」が 2 体に増えていてびっくりしました。内場地区にあったものを移されたそうです。昔「おっとい」に遭ったことがあるそうで、コンクリートで固めてありました。

生徒たちは 8 班に分かれ、事前学習を 3 回行っていたので、いろいろな質問をしていました。今日の学習で学んだことをさらに 2 回の授業でまとめ、各自「庄内新聞」を作成することになっています。



## お礼のメッセージより (中山祐瑞さん)

先日は、お忙しい中庄内巡見の機会を設けていただき、ありがとうございました。自分の住んでいる町だけでこんなに歴史があることにとてもおどろきました。

私は諏訪神社にとっても興味が湧きました。北郷資忠さんの袖に鎌が入ったと聞いたときにはとてもビックリしました。どんな様子だったのか想像してみても、なかなかピンときませんでした。

そして安永城で、「庄内が戦場になっていた」という話も聞きましたが、今では全く考えられません。そのくらい昔は、今では想像できないような苦労があったんだろうなと思いました。

庄内は自分のふるさとですが知らないことがたくさんありました。しかし、今回の「庄内地域巡見」で自分のふるさとをより身近に感じることができました。庄内にはまだ深い歴史がありそうだなと思いました。そう考えると、「もっともっと庄内のことが知りたい!!」と思うようになりました。私は庄内をとっても誇りに思います。「庄内地域巡見」で自分のふるさとを、さらに、好きになりました。庄内の歴史や良さをより多くの人に知ってもらいたいと思いました。

案内して下さった方々のおかげで思い出に残る巡見学習になりました。本当にありがとうございました。

他にもたくさんのメッセージを頂きました。初めて知った史跡などもあったようで庄内を見直すきっかけになったと思います。

庄内地区まちづくり協議会事務局

〒885-0114 都城市庄内町 12692-2 庄内地区公民館内

TEL:0986-37-3488 FAX:0986-37-2728

ホームページ <https://www.bonchi.jp/shonai/>

みんなで作る 住みよいまち 庄内

庄内地区まちづくり協議会だより



令和 5 年 1 月発行 VOL.26

## 新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。コロナ感染症に加えロシアのウクライナ侵攻など心配事が絶えませんが、みなさまのような新年をお迎えになられたでしょうか。

昨年も新型コロナウイルス感染症は猛威を振るい、特にオミクロン株の流行で感染者が急増しました。第 7 波 (6 月~10 月) のピーク時 (お盆明けの 8 月 17 日) には宮崎県の 1 日の新規感染者数が 4 千人を超え、人口 10 万人当たりの新規感染者数も、一時全国ワースト 1 位を記録するなど大変な状況になったのも記憶に新しいところです。

このような状況を受けて、まちづくり協議会では住民参加の三大イベントのうち、第 37 回庄内ふるさと祭り・第 28 回庄内川一周 YOU 遊駅伝大会については、残念ながら昨年に引き続きそれぞれの実行委員会で中止を決定しました。しかし第 23 回庄内地区スポ・レク大会はコロナ感染が小康状態にあることや、屋外で行う行事であることから予定通り 10 月 9 日 (日) に実施することができました。

今年で 12 回目となる庄内中学校 1 年生の地域巡見学習も無事実施できました。生徒たちのお礼のメッセージを読みますと、事前学習もしっかりしており、庄内の良さを再発見してくれたようで大変うれしく思いました。この進学や就職で庄内を離れる生徒も多いと思いますが、いつかはふるさと庄内に帰ってきてくれることを願っています。

また、第 4 回庄内地区防災訓練は 11 月 20 日 (日) 実施出来ました。地区内自治公民館 10 館 (1,900 世帯、5,138 名) がそれぞれ計画通り、安否確認・避難訓練などに取り組みました。災害時に自力での避難が難しい方 (避難行動要支援者) 107 名の安否確認は各自治公民館長と民生児童委員が協力して行い、全員の確認ができました。うち 11 名は都城市消防団庄内分団 (8 部) が安否確認を行いました。消防団は前日の夜や当日朝防災訓練の告知にも協力して頂きました。

庄内地区防災訓練のあと、都城市消防局警防救急課による「大規模災害対応訓練」を実施しました。対象は自治公民館長・副館長・まち協関係者などで 24 名が参加しました。24 名を 3 班に分け水バケツ・消火器による消火訓練やジャッキ等による救助訓練・ロープワーク訓練・通報訓練などを、たくさんの方の消防局職員の方の指導で、熱心に訓練を行いました。

今年度取り組んでいる地域防災力向上事業 (宮崎県事業) は、NPO 法人宮崎県防災士ネットワークの防災士さんが庄内地区各自治公民館と協働し、館内危険個所のマップづくりなどに取り組んでいます。お住いのみなさまのご協力をお願いします。

年始の時期に当たり、新型コロナウイルスの感染状況は油断ができませんが「新しい生活様式」の実践でコロナに打ち勝ち、日常生活を取り戻せるよう頑張っていきたいと思います。

一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息と、皆様のご健康をお祈り申し上げます。

令和 5 年元旦

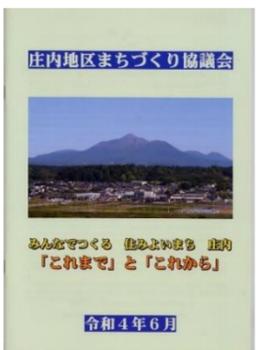
庄内地区まちづくり協議会 会長 徳留 次男

## まち協の「これまで」と「これから」を作りました

庄内地区まちづくり協議会が平成 22 年 (2010 年) に設立されて、今年度は 12 年目になります。これまでさまざまな事業に取り組んできましたが、まだまだ将来に向けて課題は山積しています。このたび庄内地区まちづくり協議会の「これまで」取り組んできた事業について整理し、「これから」将来に向け取り組むべき課題などをまとめた小冊子を作りました。若干部数がありますので、必要な方は事務局にご連絡ください。

また下記アドレスからダウンロードできます。(PDF)

<https://www.bonchi.jp/shonai/docu/plan2022.pdf>



## 菓子野小学校4年生の校外学習を実施しました

6月21日(火)教育文化活動部会(花原恵子部会長)が主催して菓子野小学校4年生(12名、幸松伸代先生)の校外学習を実施しました。8時30分ごろマイクロバスで学校を出発し庄内地区公民館に向かいました。あいにく雨が激しかったので三原叢五(そうご)先生のお墓の訪問はあきらめました。公民館で三原先生のことについて説明しました。

三原先生は三島通庸が創立した学校(藩校)の初代の校長として、明治3年に鹿児島から招かれました。明治5年には学制が公布され、庄内小学校の初代校長となりました。ところが明治10年西南戦争が勃発し、先生は西郷軍に従軍されます。戦争が終わりしばらくしてひょっこり庄内に帰って来られましたが、すでに庄内小学校には新しい校長が赴任していました。村議会では菓子野に分教場を作りそこで教鞭をとってもらうことにしました。分教場は現在の菓子野公民館のところだったそうです。先生は68歳で亡くなりました。亡くなられた日は明治34年6月18日で今年121年目になります。

次に「関之尾むかえびとの会」の皆さんにより関之尾を水源とする3本の用水路(南前用水路、北前用水路、前田用水路)の説明や、坂元源兵衛の紙芝居「坂元源兵衛物語」を見てもらいました。

次は山田町の都城市クリーンセンターに移動し約1時間30分説明と見学を行いました。児童たちはゴミ処理について習ったばかりで、センターの職員の方の説明やビデオでさらに理解が深まったようでした。施設の見学ではクレーン作業を飽きることなく見ていました。



## 庄内川堤防の草刈りを行いました

10月1日(土)に庄内川の堤防草刈りを実施しました。第23回庄内地区スポ・レク大会が10月9日(日)に実施されるのに合わせ行いました。環境整備部会、まち協代議員、公民館長、副館長などに呼びかけ、約35名の参加がありました。午前6時から庄内橋、上平田橋、平田橋、引土橋、鶴島橋の5ヶ所に別れ作業をしました。

毎年、宮崎県河川パートナーシップ事業により、庄内川の両岸をまち協、西区・川崎壮年会、農家の方などで手分けして機械で刈っています。橋の付近や水門付近などは機械で刈りにくいので、手作業で実施しています。7時30分ごろすべての作業が終了しました。



## 第23回庄内地区スポ・レク大会

お天気が心配でしたが、10月9日(日)「第23回庄内地区スポ・レク大会」が開催されました。庄内地区市民広場をスタートし、庄内川堤防の左岸を歩き、引土橋を渡り次は右岸を庄内橋まで歩き、帰ってくる約5キロのコースに113名の方が参加しました。令和2年、3年とコロナ感染症拡大のため中止でしたので、久しぶりの開催となりました。

10月になっても暑い日が続きましたが、堤防は少し寒さを感じるほどでした。参加者は、それぞれ景色を楽しみながら1時間15分~1時間30分でゴールしました。ごみ拾いをしながら歩いている家族もあり感心しました。堤防は去る10月1日に環境整備部会の呼びかけで草刈りを実施していましたので気持ちよく歩けました。



## 「美しい宮崎づくり奨励賞」を受賞



都城工業高等専門学校建築学科杉本研究室殿  
NPO法人手仕事舎そうあい殿  
庄内地区まちづくり協議会殿

貴団体は「みんなでつくる」を活動目標に空家の利活用や地域の子供達への学習機会の提供など多様な活動を展開し地域コミュニティの活性化に貢献されました。その功績は誠に顕著でありますのでこれを表彰するとともに今後ますますの御発展を祈念いたします。

令和四年十月二十四日  
宮崎県知事 河野俊嗣

## 乙房小学校4年生の校外学習を支援しました

10月26日(水)教育文化活動部会(花原恵子部会長)が主催して、乙房小学校4年生(39名、高橋まゆみ先生)の校外学習を実施しました。マイクロバス2台に分乗し学校を出発、庄内地区公民館に移動し、「関之尾むかえびとの会」の佐々原さんが、関之尾を水源とする3本の用水路(南前用水路、北前用水路、前田用水路)の説明をしました。その後、前田用水路の開発に尽力した坂元源兵衛の紙芝居「坂元源兵衛物語」を見てもらいました。

その後公民館の部屋の見学をおこない、9時40分頃公民館を出発、山田町の都城市クリーンセンターに移動し約1時間30分説明と見学を行いました。センターの職員の方が詳しく説明してくださいました。児童たちはたくさんの質問をし、しっかり学習できました。



## 第4回庄内地区防災訓練を実施しました

11月20日(日)「南海トラフ~日向灘沖を震源とする『震度6弱』の地震」を想定した防災訓練を実施しました。令和元年の都城市総合防災訓練が庄内地区で開催されたことをきっかけに、継続して実施しているもので、今年で4回目になります。

午前7時30分、地区内自治公民館10館(1,900世帯、5,138人)がそれぞれ計画通り、安否確認・避難訓練などに取り組みました。庄内地区公民館には庄内地区災害対策本部を開設し、各自治公民館の連絡員を配置、情報収集に当たりました。また庄内地区社会福祉協議会は災害ボランティアセンターの開設訓練を行いました。大規模災害の発生時には、ボランティアセンターも各地区に開設する必要があります。

また避難行動要支援者(庄内地区107名)の安否確認は各自治公民館長と民生児童委員が協力して行い、全員の確認ができました。

都城市消防団庄内分団(8部)では前日の夜や当日の朝、防災訓練の告知を行いました。また避難行動要支援者の安否確認などにも協力しました。各自治公民館からの状況報告は9時までにはすべて終わりました。

